

進路学習だより

Break-through

打破！

ブレイクスルー

第6号

令和元年10月3日(木)

小笠原中学校

進路学習部

◆学習時間を伸ばすには

	1年生		2年生		3年生		全校	
	4月	9月	4月	9月	4月	9月	4月	9月
期間全体	73.0	80.8	54.7	48.7	53.1	113.4	61.6	81.6
平日	80.1	72.4	80.8	42.2	74.5	100.6	79.0	72.4
休日	69.5	90.3	41.6	56.0	42.4	128.1	52.9	92.1

(分)

上の表は、先月9日から23日に行った2週間学習プログラムで報告された学習時間をもとに、各学年ごとの1日の平均学習時間を示したものです。これを見てみると、前回4月に課題となった休日の学習時間については、いずれの学年でも学習時間の伸びが見られたものの、逆に平日の学習時間が1年生、2年生で減少するという結果となりました。この Break-through 第2号でも掲載したとおり、平成27年にベネッセ教育総合研究所が行った、「第5回学習基本調査」によると、全国の中学2年生の平日の学校外の学習時間は90.0分ですので、小笠原中学校のみなさんにはもう少し学習時間を増やしてほしいところです。

では、どのようにすれば学習時間を増やすことができるのでしょうか。東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所が共同で行った、「子供の生活と学びに関する親子調査2015-2016」によると、「勉強が『嫌いから好き』になった子どもは、どの学校段階でも、学習時間が伸び、成績（自己評価）も上昇」という結果を示しています。つまり、勉強を好きになれば、学習時間も伸び、成績も上がるということのようです。そういうわけで、みなさん勉強を好きになりましょう。

と、こんなことを書いていると、これを読んだみなさんから「そもそも勉強を好きになるなんて無理だよ」という声が聞こえてきそうです。ですから、「どうしたら勉強が好きになれるのか」ということについても考えなければいけません。先ほどと同じ「親子調査」の別の調査項目の結果を見てみると、「勉強が『嫌いから好き』になった子どもは学習方略を活用している」とあります。学習方略とは「学習の効果を高めることをめざして意図的に行う心的操作あるいは活動」のことですが、そのなかでも、中学生にとってより効果があったものとしては、「繰り返し覚えること」と「何がわかっていないか確かめながら勉強する」が挙げられています。

このことから、勉強が「嫌いから好き」になる学習方法を考えてみましょう。小笠原中学校では、1日にノート1ページ以上の家庭学習をするという取組をしています。そのノートを活用するとしたら、どのような学習が考えられるのでしょうか。例えば、「繰り返し覚えること」の観点でいえば、漢字や英単語、英文などを何度も書くということが考えられます。このとき気をつけなければならないのは、ただ手の運動をしているという状態にしないということです。「何の漢字を書いているのか」「どういう意味の英単語や英文を書いているのか」ということをはっきりと考えながら、手と頭を同時に使うということが大切です。

また、「何がわかっていないか確かめながら勉強する」という観点でいえば、授業でわからなかったことを復習するということが考えられます。授業で先生の説明を聞いてもわからなかったことをチェックしておき、家に帰ってから問題を解き直してみたり、教科書や資料集、参考書などで該当する項目を確認し、その内容を整理してみるということもできるでしょう。ただ、「わからないところがわからない」と感じている人もいることでしょう。そう感じている人は、これまでの定期考査や授業中に行っている小テスト、授業の課題などをもう一度解き直し、解けるようになっていくかどうかを調べてみることも効果的でしょう。

「学問に王道なし」といいます。苦しいからといってやらなければ、いつまでたってもできるようになりません。逆に、苦しさを乗り越えて続けていくことで少しずつできるようになっていき、「勉強を『嫌いから好き』」にすることができます。中学生のこの時期に勉強の習慣をつけることはとても重要です。家庭学習の時間を見直し、しっかりとした家庭学習習慣を身に付けましょう。

◆中間考査に向けて

中間考査があと2週間に迫っています。今日テスト計画を立て、明日から学習計画表を記入し、毎日担任の先生に報告します。

今回の学習計画表には、1学期期末考査の結果を記入する欄があります。前回の定期考査の結果を見て、適切な目標を設定してもらおうという思いからこの欄を設けました。1学期期末考査のときは、適切な目標が設定されていないという課題がありました。適切な目標とは、「少し頑張れば達成できる目標」です。どんなに頑張っても達成できない目標であれば、頑張る気持ちはなくなってしまいます。逆に、すでに達成できている、まったく頑張らなくてもよい目標を立てても、自分の力を伸ばすことにはつながりません。適切な目標を立てることで、自分の能力を向上させることができるのです。

適切な目標を立て、それに向かって努力し、中間考査を学力向上のために活用してください。

2学期中間考査 10月18日(金)

中間考査までの予定

(テスト計画)	10月3日(木)
(学習計画表記入)	10月4日(金)～10月17日(木)
(学習教室開放)	10月11日(金)・15日(火) 午後3時50分から午後5時まで 10月12日(土) 午前9時から午前11時50分まで
	入室 午前 8時50分
	学習① 午前 9時 から 午前 9時50分まで
	学習② 午前10時 から 午前10時50分まで
	学習③ 午前11時 から 午前11時50分まで

(定期考査前小テスト)

国語：10月10日(木) 朝読書
英語：10月11日(金) 学習タイム
数学：10月15日(火) 学習タイム

(テスト反省) 10月25日(金)